



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社 ジェイテック 上場取引所 東 名
 コード番号 2479 URL <https://www.j-tec-cor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 谷口 恵大 TEL 03-6228-6463
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	832	2.6	25	12.4	25	—	17	—
2026年3月期第1四半期	811	△1.0	22	△40.8	△2	—	△6	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 17百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	2.19	—
2026年3月期第1四半期	△0.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	2,210	1,389	62.9	173.13
2026年3月期	2,138	1,476	69.0	183.92

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 1,389百万円 2026年3月期 1,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では2027年3月期の当該基準日における配当予想額は未定であります。

(注3) 2026年3月期期末配当金には、設立30周年記念配当3.00円が含まれております。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,650	8.7	310	31.6	310	46.1	180	22.4	22.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	8,572,400株	2026年3月期	8,572,400株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	545,300株	2026年3月期	545,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	8,027,100株	2026年3月期1Q	8,006,700株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済環境は、雇用・所得の改善や、個人消費の持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇や人手不足等の継続により、消費者心理は慎重で、さらには中東情勢の緊迫化による原材料・物流コストの上昇や日中関係の不安定化の影響も重なり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループの主力事業領域である技術者派遣市場では、人手不足が続いており、昨今の世情でAI頼りの要請が色濃くある中、「テクノロジスト」（高度な技術だけでなく、優れた人間性も兼ね備えた人材に対する当社グループでの呼称）の引き合いは強く、需要旺盛で底堅く推移し、収益伸長に寄与しました。既存顧客への営業活動と併せて新規顧客開拓を推し進め、契約単価上昇と高水準の稼働率維持により、対前年同期比で増収となり、ここ10年間の過去の第1四半期においては最高のトップラインとなりました。

費用面に関しては、テクノロジストファーストの精神にも即した人的資本の観点からの新人事制度の導入等により、増収に伴って、待遇面を中心に売上原価も増加となりましたが、全社挙げての販売費及び一般管理費の抑制により、営業増益幅の確保に努めました。また、前年度に一時的に発生した市場区分の変更に係るコスト等、特例的な多額の営業外費用も生じず、経常増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高832,327千円（前年同期比2.6%増）、営業利益25,858千円（前年同期比12.4%増）、経常利益25,950千円（前年同期は経常損失2,012千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,603千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6,434千円）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 技術職知財リース事業

当第1四半期連結累計期間は、主に当社グループの派遣契約単価は好調に伸びたものの、テクノロジストの待遇改善を推し進めたことにより売上原価は増加しました。その結果、売上高は832,327千円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は144,893千円（前年同期比2.6%減）となりました。

② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

2025年3月期より全業務を休止しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,210,816千円となり、前連結会計年度末より71,855千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加56,185千円、売掛金の増加33,339千円、契約資産の減少32,182千円、繰延税金資産の増加21,400千円によるものであります。負債合計は821,106千円となり、前連結会計年度末より158,502千円の増加となりました。これは主に賞与引当金の減少△82,227千円、未払費用の増加134,689千円、預り金の増加53,207千円、未払消費税等の増加26,379千円、未払法人税等の増加15,627千円によるものであります。純資産合計は1,389,710千円となり、前連結会計年度末より86,647千円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少86,748千円によるものであります。この結果、自己資本比率は62.9%と前連結会計年度末の69.0%に比べ6.1ポイント下落いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,469,016	1,525,201
売掛金	422,086	455,426
契約資産	41,039	8,857
前払費用	47,331	39,510
その他	8,882	8,992
流動資産合計	1,988,357	2,037,988
固定資産		
有形固定資産	35,464	35,893
無形固定資産	742	1,841
投資その他の資産		
投資有価証券	7,456	7,168
関係会社株式	0	0
敷金及び保証金	30,873	30,455
繰延税金資産	76,067	97,468
投資その他の資産合計	114,397	135,093
固定資産合計	150,604	172,828
資産合計	2,138,961	2,210,816
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	19,895	14,480
未払金	73,942	85,992
未払費用	44,224	178,914
未払法人税等	16,845	32,472
未払消費税等	45,274	71,653
預り金	18,649	71,857
賞与引当金	178,887	96,660
その他	56	120
流動負債合計	397,774	552,150
固定負債		
退職給付に係る負債	264,829	268,955
固定負債合計	264,829	268,955
負債合計	662,603	821,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	252,852	253,391
利益剰余金	1,037,136	950,388
自己株式	△83,081	△83,081
株主資本合計	1,468,741	1,382,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,401	3,204
退職給付に係る調整累計額	4,214	3,972
その他の包括利益累計額合計	7,616	7,177
純資産合計	1,476,358	1,389,710
負債純資産合計	2,138,961	2,210,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	811,448	832,327
売上原価	564,703	591,307
売上総利益	246,744	241,019
販売費及び一般管理費	223,747	215,160
営業利益	22,997	25,858
営業外収益		
受取配当金	85	113
営業外収益合計	85	113
営業外費用		
支払利息	95	21
市場変更関連費用	25,000	—
営業外費用合計	25,095	21
経常利益又は経常損失（△）	△2,012	25,950
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△2,012	25,950
法人税、住民税及び事業税	29,205	29,656
法人税等調整額	△24,784	△21,310
法人税等合計	4,421	8,346
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△6,434	17,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△6,434	17,603

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△6,434	17,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	455	△197
退職給付に係る調整額	△314	△241
その他の包括利益合計	140	△438
四半期包括利益	△6,293	17,165
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,293	17,165
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,046千円	1,110千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	811,448	—	811,448	—	811,448
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	811,448	—	811,448	—	811,448
セグメント利益	148,694	—	148,694	△125,697	22,997

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額（△125,697千円）の主なもの、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	832,327	—	832,327	—	832,327
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	832,327	—	832,327	—	832,327
セグメント利益	144,893	—	144,893	△119,035	25,858

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額（△119,035千円）の主なもの、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。